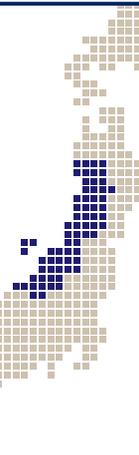


# カトリック

# 新潟教区報



## ともに歩む新たな年へ

新潟司教 パウロ 成井 大介



## 長崎大司教任命のお知らせ



2021年12月28日、教皇フランシスコは中村倫明補佐司教を長崎大司教に任命されました。

着座式は2022(令和4)年2月23日10時30分より、浦上司教座聖堂において行われます。

皆様、明けましておめでとございます。わたしたち新潟教区の信者、関係者、ともに歩むすべての人々の上に神の豊かな祝福がありますよう、お祈り申し上げます。年頭書簡と重なることもありませんが、今年新潟教区で計画されているいくつかの活動についてお知らせします。

シノドスと教区の優先課題の振り返り  
1912年、大正元年に、当時函館教区の一部だった秋田、山形、新潟の3県と、東京教区の一部だった富山、石川、福井の3県とを合わせ、新潟使徒座知牧区が新設されてから今年で110年になります。そして、第2バチカン公会議が始まった1962年に新潟使徒座知牧区が司教区に昇格されて今年で60年です。  
2012年に100周年を祝ったとき、新潟教区は福音宣教司牧の優先課題を改訂し、これまで取り組んできました。そして今年、新潟教区では、昨年10月に始まったシノドスに関する分ち合いと、教区の優先課題についての振り返り、新たな宣教司牧方針を作成するための話し合いを各教会、修道院で行います。移り変わる社会の中であって教会は、福音を生き、伝えるという不変の目的のために、その時々々の社会によりよく響く福音宣教の仕方と共同体のあり方を模索し、変化してきました。コロナ禍によってさらに大きく変化した社会の中で、わたしたちはどのような方法、どのような共同体として福音を生き、伝えていくよう招かれているのでしょうか？すでにシノドスと優先課題についての話し合いの手引き書をお送りしました

が、今年には皆様の共同体で、しっかりと話し合う一年としていただけたらと願っています。

### 司祭叙階式

これまで長い間神学院において養成を受けてきた岡助祭は、この度司祭叙階が許可され、今年の5月5日に新潟教会にて司祭叙階式が行われることとなりました。皆様の思いのこもったお祈りとご支援に心より感謝いたします。司祭叙階という喜びと恵みの時を多くの皆様とともにしたいところですが、コロナ禍の状況によっては人数制限を行うこととなります。詳細についてはまた改めてお知らせします。

### 教区大会

コロナ禍のために延期になっていた教区大会が、長岡地区の担当で今年の10月に行われる予定です。今年コロナ禍がどのように推移していくのかわかりませんが、シノドスを通してともに歩む道を模索するわたしたちにとって、大切な交わりの機会になると思います。なんとか工夫し、協力して、教区全体が「ともに歩む」ことを感じることのできる集いになればと期待しています。長岡地区の皆様には準備でお世話になります。どうぞよろしくお祈りします。

### 公式訪問

2020年9月の着座後、私はコ

ロナ禍のために叙階式に来ていただけなかった皆様と会うために、教会と修道院を訪問してまわりました。昨年の4月からは公式訪問をはじめ、これまで32の教会を訪問してきました。今年からは、以前菊地大司教様がなさっていたように、隔年で公式訪問を行って参ります。偶数年で新潟県を、奇数年で山形県と秋田県を訪問します。公式訪問は、司教が小教区の司牧を担当する司祭、そして小教区共同体や様々な活動団体と直接会って話し、関係を深め、地域における宣教司牧のために意見交換をする良い機会ですので、しっかりと準備していけたらと思います。

### 神と自然環境と人間の調和

昨年の5月25日に教皇フランシスコは「ラウダー・シ・アクシオン・プラットフォーム」の立ち上げを発表しました。これは、わたしたちが暮らすこの地球において、人間と自然が被造物として互いに繋がっていることを意識し、すべてを神から造られたかけがえのない存在として大切にしていこうと呼びかけるものです。現在日本の司教団は、この取り組みを推進する上での基本的な考え方を示す文書を作成中です。この文書が公表され次第、新潟教区においても組織的に取り組んでいきたいと考えていますので、地域に根ざし、自然と調和した生き方と、弱い立場に置かれた人に寄り添う生き方を探って参りましょう。



# 仙台教区 新司教任命のお知らせ



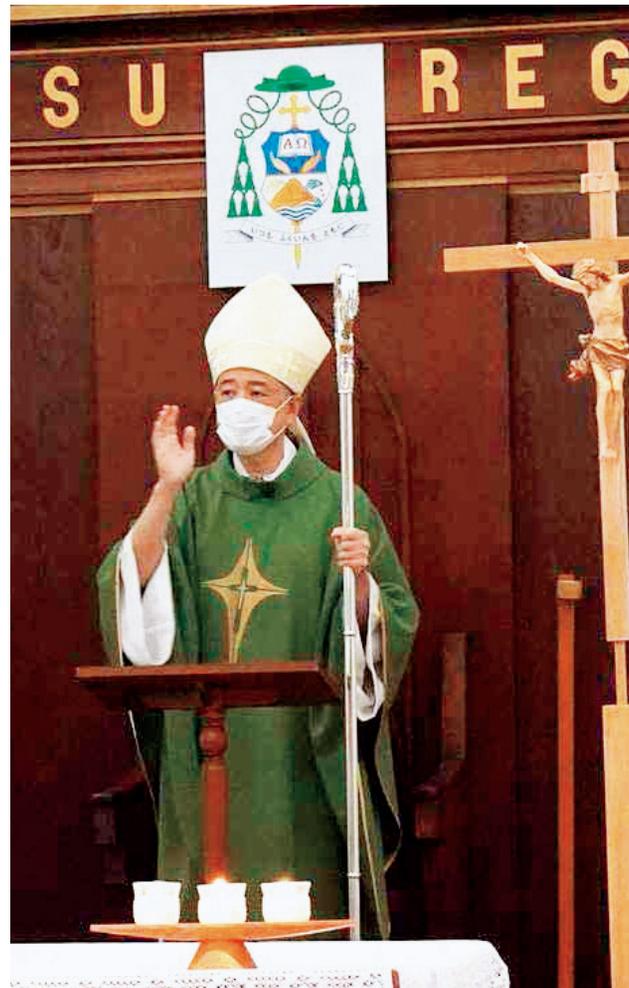
2021年12月8日、教皇フランシスコは、これまで空位が続いていた仙台教区の司教として、GACUTAN, Edgar神父（ガクタン エドガル） 淳心会を任命されました。

ガクタン被選司教は、現在、淳心会アジア管区・日本地区長で、松原教会（東京大司教区）の主任司祭として司牧されています。

叙階式は2022（令和4）年3月19日10時30分より、仙台司教区センター 元寺小路教会大聖堂において行われます。

## GACUTAN, Edgar被選司教の略歴

- 1964年9月23日 フィリピン、ルソン島東北部カガヤン（Cagayan）州で誕生
- 1986年10月19日 淳心会で初誓願
- 1990年2月 来日
- 1991年6月2日 淳心会で終生誓願
- 1992年3月20日 助祭叙階式（大阪カテドラル）
- 1994年4月23日 司祭叙階（フィリピン）
- 1994年5月～1997年3月 金剛教会・三田市教会（大阪大司教区）助任
- 1997年4月～2003年11月 堺ブロック（大阪大司教区）共同宣教司牧
- 1996年1月～2001年12月 淳心会神学生養成担当
- 2002年4月～ 社会福祉法人 淳心会（堺市）理事長
- 2004年1月～2007年12月 カトリック青年労働者連盟（JOC）全国協力者
- 2004年1月～2012年12月 淳心会日本管区 管区長
- 2013年1月～12月 サバティカル（フィリピンとアメリカ）
- 2014年1月～2017年3月 カリタス大船渡ベース ベース長 仙台教区第4地区担当 仙台教区外国人支援センター センター長
- 2017年4月～ 東京教区 松原教会（東京大司教区）
- 2018年4月～ 学校法人淳心学院（姫路市）理事長
- 2020年7月～ 淳心会アジア管区・日本地区 地区長



全世界の教区で  
シノドスの旅がはじめられました!!

教皇フランシスコは2021年10月10日、世界代表司教会議、シノドス第16回通常総会の開会ミサを行いました。これにより2023年10月にバチカンで行われる会議へと向かう歩みが始まりました。  
新潟教区長成井司教は2021年10月17日（日）の新潟教会でミサを司式し、このミサをもって新潟教区のシノドスの歩みをはじめると宣言されました。  
これから来年の4月まで、全世界のカトリック教会の信徒が「ともに歩む教会のため」交わり、参加、そして「宣教」というテーマに基づいて、自分たちの共同体のあり方や活動について振り返ります。  
司教は説教の中で「シノドスとは、世界代表司教会議のことで、3

年に一度バチカンで開かれてきます。言葉としては「神の民がともに歩む」道の意味しています。イエスご自身である道、イエスが示された救いの道、父へと続く道、を私たちキリスト者がイエスとともに歩んで行くこと。シノドスとはそういう営みです。」と説かれ、また「シノドスとは一時的な会議を意味するだけでなく、わたしたちキリスト者共同体のあり方そのもの、活動そのものなのです。自分は誰とともに歩んでいるのでしょうか？そう考えるのと、やはり、イエスとともに歩んでいることが頭に浮かびます。そして、誰もがイエスのように宣教するよう招かれています。」と説かれました。  
「バチカンのシノドス事務局は、

各教区においてシノドスのテーマに基づき分かち合いをするための10の質問を準備しました。新潟教区では、この10の質問に加えて2012年の教区の優先課題の振り返りも行います。その分かち合いを依頼する文書を、各教会、修道院にお送りします。それぞれの共同体で話し合ってください。（2021年11月11日付で発送）そして、今日から来年の4月までの期間を通して、私たち新潟教区共同体が、誰と、どのように、何のために旅をしているのかしっかりと振り返り、その歩みを確かなものとしていくことができますように、共に祈りましょう。」と結びました。  
拝領祈願の後、シノドスの祈りを全員で唱え閉祭しました。

シノドスのための祈り Adsumus Sancte Spiritus  
(聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立っています)

聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、  
あなたのみ名によって集います。  
わたしたちのもとに来て、とどまり、  
一人ひとりの心にお住まいください。  
わたしたちに進むべき道を教え、  
どのように歩めばよいか示してください  
弱く、罪深いわたしたちが、  
一致を乱さないよう支えてください。  
無知によって誤った道に引き込まれず、  
偏見に惑わされないよう導いてください  
あなたのうちに一致を見いだすことができますように。  
わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、  
真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。  
このすべてを、  
いつどこにおいても働いておられるあなたに願います。  
御父と御子の交わりの中で、世々とこしえに。  
アーメン。

2022年 新潟教区会議・集会等日程 (2022年1月1日現在)

○顧問会日程	
3月28日(月) 13:15~	新潟司教館
6月7日(火)	司祭の集い会場
9月5日(月) 13:15~	新潟司教館
11月28日(月) 13:15~	新潟司教館
(東京教会管区代表者会議 未定)	

○司祭会議・司祭の集い等日程		
司祭評議会	3月28日(月) 15:30~3月29日(火) 昼食	新潟司教館
聖香油ミサ	4月13日(水) 10:00	司教座聖堂
宣教司牧評議会	4月29日(金) 祝日10:00~15:00	新潟教会センター2F
司祭の集い	6月6日(月)~8日(水)	山形地区で開催
司祭評議会	11月28日(月) 15:30~11月29日(火) 昼食	新潟司教館

○集会等		
司祭叙階式	5月5日(木)	司教座聖堂
米沢殉教祭	7月3日(日)	
さいたま教区・新潟教区司祭合同黙想会	9月26日(月)~30日(金)	中軽井沢

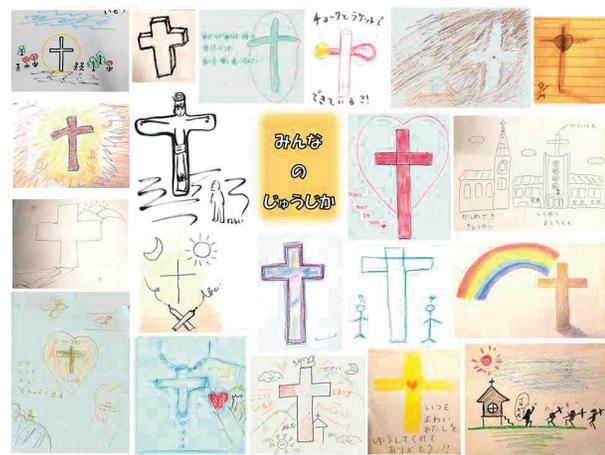
新潟教区青年の集いを終えて

新潟教区青年の集いスタッフ

11月21日(日)の王であるキリストの祭日は、今年度より世界青年の日と定められました。世界青年の日に当たって、「青年の意向に基づく青年の集いを催してほしい」というバチカンからの呼びかけに答え、新潟教区でも21日の午後より新潟教区青年の集いを、オンラインにて開催いたしました。

初の試みでしたが、10以上の小教区から35名ほどの方が参加してくださいました。当日は日本語とベトナム語の通訳を行いつつ、画面越しではありますがありました。和気藹々と楽しい時間を過ごしました。

自己紹介から始まり、最初のプログラムは「私の十字架」をしました。世界青年の日のシンボルが十字架であることから、自分のイメージする十字架について、一人ひとりイラストや文字で表しました。その後、描いたものを見せつつ、自分の十字架



に込めた想いについて話し、共有しました。自分の長所短所をすべて十字架の前で捧げていることを表した方、いつもどこにいても十字架を持つていることを表した方、神の愛・平和・希望が波紋のように広がることを表した方、イエス様が私たちの道標となっていることを表した方、私たちの止まり木のような存在となりいつも見守り励ましてくださっていることを表した方など、いろいろな十字架がありました。他の方の想いを聴き、自己を振り返ったり、新たな気づきを得たりした時間となりました。

次に、歌と祈りをしました。オンラインのため、全員で一緒に歌うことはできませんでしたが、ベトナム人グループと日本

人グループの二組の代表の方々に歌っていただき、その間一緒に体を揺らしたり、少し口ずさんだりするなど、言語が分からなくても皆の想いが一つになった時間だったと感じます。

次の司教様からのメッセージは、今まで司教様が歩まれてきた道りをお写真で拝見しつつお話を伺いました。司教様の「いつも ふくいんを」ともに」というモットーに込められた想いやオープンなお人柄に触れ、新潟教区へ来てくださり、これから私たちとともに歩んでくださる喜びを改めて感じました。最後に、シノドスについてのお話もありました。「教会は、どうしたらもつと、ともに歩むことができるのか」という問いかけは、私たち新潟教区の青年にとっても大切な問いかけだと感じます。いろいろな場所に住み、文化をもつ私たちが、今後もつながり続け、深めていけるよう、また青年たちで考える場を作ることができたらいいなと思っています。



訃報



1937年3月20日 生まれ  
1974年4月29日 司祭叙階  
2021年12月7日(火) 友部修道院にて帰天されました。  
享年84歳。

ルドヴィコ茨木 川俣三男神父  
(イエス・マリアの聖心会)

川俣神父様は現在の長井教会の献堂に大きく貢献されました。また、県内各地の教会でもたくさんのお奉仕をいただきました。川俣神父様の永遠の安息のために祈りください。